



Living My Dream Life

in ふじのくに

世界に開かれた 山間地のサテライトオフィス

ゾーホージャパン株式会社

迫 洋一郎さん
杉山 祐加さん

インドにグループ本社がある外資系IT関連企業の日本法人。取引先の情報整理を行う顧客情報管理ソフト (ZohoCRM) をインターネットを通じて提供するクラウドサービスや情報システム管理ツールの提供事業も手がける。「笑顔あふれる社会の創出」をスローガンに地方創生にも取り組む。



インターネットを通じて横浜本社の社員と打ち合わせをする杉山さん。同社では今後スタッフの増員も予定している。

SLの汽笛が山間に響く榛原郡川根本町東藤川にIT関連企業「ゾーホージャパン」のサテライトオフィスがある。勤務するのは、地元採用の杉山祐加さん。同社が推進するスーパーフレックスという就業スタイルの中で、日々のびやかに仕事、家事、育児をこなしている。

発端は、平成28年、静岡県と川根本町が人口減少に歯止めをかけるため、地方創生の一環としてサテライトオフィスの誘致やテレワークの推進に乗り出したこと。以前から「豊かな自然の中にオフィスを設けたい」と考えていた同社と考えが一致し、今年4月、開所に至った。同社社長の迫洋一郎さんは「自然環境や通信インフラに大きな魅力を感じましたが、一番の決め手は、地元の人たちによる歓迎の気持ちでした」と振り返る。

杉山さんの仕事は、同社コールセンターの受付。横浜にある本社と常時ネット接続しながら、顧客の質問等に電話で対応している。1日の就労時間は5.5時間。「自分の都合に合わせて働けるので、本当に助かっています。しかもヤギと一緒に通勤しているんです」と杉山さんは笑う。

豊かな自然、ストレスのない働き方、地元の理解と支援、そして世界に開かれた扉。「ゾーホージャパン」の川根本町オフィスには、地方創生のヒントと働き方改革のアイデアがあふれている。

取材協力：ゾーホージャパン株式会社 <http://www.zoho.co.jp/>